

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2019-009
2.研究課題名	攻撃行動の精神神経内分泌免疫学的基盤 —効果的・効率的な犯罪予防・矯正に向けた基礎的検討—
3.研究期間	令和2年4月（部局長承認後）～ 令和4年3月31日
4.研究の概要	<p>意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての確に記すこと。） 我々の多くは他者に暴力をふるってはいけなと理解している。しかし、社会から攻撃の問題が無くなる兆しは見えない。攻撃に関連する問題を予防し、また慢性的加害者への矯正により再犯を防ぐには、攻撃行動の発生過程を解明することが必要である。こうした背景から、本研究では、なぜ基礎テストステロンとコルチゾールの比が大きい者ほど攻撃行動を行う傾向があるのか、その理由を明らかにすることを目的とした。</p> <p>倫理的配慮として、実験期間中、実験参加を拒否できること、実験途中で実験を随時中断できること、実験参加拒否や途中中断によって一切の不利益を被らないことを説明し、参加者に実験参加の自由を保障する。また、特に、生体試料収集を随時拒否できるように配慮する。さらに、本研究ではカバーストーリーを用いることから、実験終了後の事後説明で、本研究の真の目的などの説明を行う。</p> <p>個人情報の保護に関しては、実験で得られたデータは全て数値化して扱い、個人が特定できる内容は含めない。数値化されたデータは外部記憶媒体に保存し、厳重に保存する。データへのアクセスは、研究責任者及び研究分担者のみに限定する。</p> <p>方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと） 研究1、2とも平時測定と実験室実験で構成する。平時測定では、実験室実験と同一週平日に、自宅にて安静時の唾液を一日2回、2日連続で採取してもらう。実験室実験では、攻撃行動課題を実施し、その前後で合計4回唾液を採取すると共に、実験前後で感情等の測定を行う。研究1ではコルチゾールを、研究2ではコルチゾールとテストステロンを測定する。</p> <p>本実験では、18歳以上の非喫煙の健常な男子大学生を対象とする。研究1では15名程度、研究2では30名程度を対象とする。両研究ともに、喫煙や服薬はホルモン分泌に影響するため、喫煙者や服薬者は研究対象から除外する。また、女性は月経周期によりホルモンバランスの統制が難しいことから、男性のみを対象とする。なお、複数回の実験参加による影響を除外するため、研究2では研究1の参加者を除外する。</p> <p>問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科総合人間学専攻心理言語人間学講座 心理学研究室 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 27-1 Fax: 022-795-3703</p> <p>東北大学川内南地区「人を対象とする医学系研究」倫理審査委員会事務局 TEL: 022-795-6103</p>

(紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。)